

1章：投資の効果について

長期投資の効果について

長期投資とは、短期間で売買を繰り返す投資ではなく、長期にわたって金融商品を持ち続けることで、リスクを小さく（プラスもマイナスも含む利益の振れ幅を小さく）する投資手法です。短期の運用ではリターンの上下動が激しい場合でも、長期の運用で見ると資産は成長していくことがわかります。

例

- ・資産配分：「GPIF 参考 Portfolio」（※）
- ・運用期間：「設定来」

1年毎のリターンはマイナスになることもありますが、長期にわたり金融商品を持ち続けることで資産が成長していることがわかります。



※「GPIF 参考 Portfolio」とは、「GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)」の基本ポートフォリオ(資産構成割合は日本株式 25%、日本債券 35%、世界株式 25%、世界債券 15%)です。